としょかんだより

2011. 4 NO.73

〒671−2576
宍粟市山崎町鹿沢81
宍粟市立図書館
TEL 62−4620
FAX 62−9688

「山崎にこの図書館あり」

高橋 研志郎

まず冒頭にこのたびの未曾有の巨大地震の被害に遭われたすべての皆さまに心よりお見舞い申しあげて書き出しとさせていただきます。

宍粟市に二年弱勤務する中で図書館には郷土資料の検索におじゃましたのが最初でした。揖保川の高瀬舟の歴史、市役所横の出石河岸が大いに栄えていた時代があったこと、はたまた山崎断層の事等々郷土資料コーナーで調べ出したのがきっかけでした。住まいの姫路市の図書館では見つけることの出来ない資料もあり大いに参考になりました。こうした仕事関連の調査の傍ら、立ち寄る新刊コーナーは、表紙が見られるように工夫されており、新聞の書評で読んだ新刊が本屋さんと同じように並んでいて発見の連続でした。浅田次郎氏の「終わらざる夏」などは丁度八月頃の読書で、終戦の時代背景と同じ月に読ませていただき感動した一冊でした。

健康関連、スポーツ関連、美術関連の新刊も多くいろいろ読ませていただきました。

この新刊コーナーを拝見するたびにスタッフの方々の日々のインテリジェンスなサービス精神が伝わってきました。また昨年末のクリスマス時期になにげなく置かれていた素朴なカレンダーが気になり伺いましたところ「味のあるカレンダーでしょう、はりま自立の家の方々の手作りですよ」と教えていただき、早速現地へ買いに行ったりもしました。

地元と連携した図書館の活動だと、これまた感心いたしました。もともとこちら山崎も城下町で、特に図書館のある場所は藩政の中心地であったはずなので、そうした歴史を背負った地域に対する使命感のようなものが館内にあるのでしょうね。

これからもしっかり利用させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ばく書のため閉館します。

4月12日（火）～16日（土）

蔵書の点検をします。ご了承ください。
なお、4月1日(金)から、しばらくの間貸出期間を3週間にしておりますので、ご利用ください。

古典を読む会

浅田先生の解説で古典の世界を楽しんでいます。お気軽にご参加ください。
（参加ご希望の方は参加申込書にご記入ください。電話でも受付けています。）

講師	浅田 耕三 先生
作品	『源氏物語（三）』（第197回） 『平家物語（三）』（第21回）
日時	4月8日（第2金曜日） 午前10時～11時30分
場所	図書館2階会議室

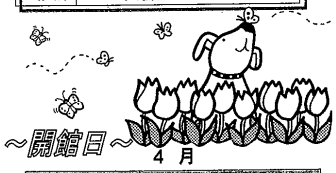
― 親子で楽しむ えほんのじかん ―

4月23日(土) 10時30分から
4歳以上の子どもと保護者の方
どうぞおこしください。

4月の えほんのじかん
いろいろなえほんをよみます。
2日（だい1どようび）
23日（だい4どようび）※親子

4月の おはなしのじかん
むかしばなしをかたります。
9日（だい2どようび）

じかん：10時30分から
ばしょ：2かいおはなしのへや
たいしょう：4さいいじょうのこどもたち



読書会

新しいジャンルに出会うチャンスです!

日時		4月9日（第2土曜日） 午後1時30分から3時
場所		図書館2階会議室
課題図書	4月	『のぼうの城』 和田 竜 著

～開館日～ 4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	~~4~~	5	6	7	8	9
10	~~11~~	△12	△13	△14	△15	△16
17	~~18~~	19	20	21	22	23
24	~~25~~	26	27	28	~~29~~	○30

△：ばく書（蔵書点検）のため閉館しています。
ご迷惑をおかけしますが、どうかご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

開館時間：午前10時～午後5時30分

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	~~2~~	~~3~~	~~4~~	~~5~~	6	7
8	~~9~~	10	11	12	13	14
15	~~16~~	17	18	19	20	21
22	~~23~~	24	25	26	27	28
29	~~30~~	○31				

×休館：月曜日・祝日・年末年始
（但し、月曜日と祝日が重なる時は、翌日の火曜日も休館）
○閉館：月末館内整理日

新着図書紹介

◆今月の新着図書の一部です◆

書名	著者	出版社	分類
あなたも1週間で実感 速読の達人	堀川 直人	幻冬舎	019.1
漂流 本から本へ	筒井 康隆	朝日新聞出版	019.9
全線開業！新幹線と観光列車でめぐる九州の旅	日本鉄道旅行地図帳	新潮社	291.9
資本主義はどこへ向かうのか 内部化する市場と自由投資主義	西部 忠	NHK出版	332.0
デフレと超円高 （講談社現代新書2091）	岩田 規久男	講談社	332.1
こうすれば日本も学力世界一 フィンランドから本物の	福田 誠治	朝日新聞出版	372.1
図説 英国レディの世界	岩田 託子	河出書房新社	384.6
日本列島奇跡の大自然	日本列島プロジェクト	NHK出版	402.9
遺伝子医療革命 ゲノム科学がわたしたちを変える	フランシス・S・コリンズ	NHK出版	491.6
完全図解 顎関節症とかみ合わせの悩みが解決する本	木野 孔司	講談社	497.3
イラストでわかる 決定版体を温める食べ物＆食べ方	石原 結實	河出書房新社	498.5
古民家遊々	講談社	講談社	527
帆布トートバッグの本 定番から作家ものまで＋作り方	誠文堂新光社	誠文堂新光社	589.2
フェミニンスタイル 5つのベースパターンで作る	松本 仁子	文化出版局	593.3
決定版 着物モダンリフォーム 着物地でやさしく作る洋服	岡嶋 寿子	世界文化社	593.3
かぎ針で編む ママと子どもの帽子＆バッグ	寺西 恵里子	PHP研究所	594.3
押し花コラージュブック 花びらから生まれた小物たち	森野 美紗子	誠文堂新光社	594.9
奥園流・まごわやさしい健康料理 いいことずくめの113品	奥薗 壽子	文化出版局	596
矢田堀家のからだにやさしい汁もの、おかず、干し野菜	矢田堀 節子	マーブルトロン	596
武士の食卓	緋宮 菜那	幻冬舎	596.2
ホームベーカリーで白神こだま酵母パン	土屋 利奈	講談社	596.6
老前整理 捨てれば心も暮らしも軽くなる	坂岡 洋子	徳間書店	597.5
有機・無農薬の野菜づくり 安全・簡単・おいしい！	福田 俊	西東社	626.9
元気で丈夫な子にするための「手作り犬ごはん」の食材帖	岡本 羽加（他）	日東書院	645.6
おしゃれにアレンジ筆文字で季節のカード 12ヶ月の文字サンプル付	さとだて ゆめこ	日貿出版社	728
エコクラフトで作る石畳編みのかごとバッグ	木原 基子	誠文堂出版	754.9
アジアに浸る	高樹 のぶ子	文芸春秋	915.6
恋しぐれ	葉室 麟	文芸春秋	
希望とは自分で変わること 養老孟司の大言論（1）	養老 孟司	新潮社	
四畳半王国見聞録	森見 登美彦	新潮社	
犠牲（いけにえ）にあらず	藤野 眞功	新潮社	
うからはらから	阿川 佐和子	新潮社	
国道沿いのファミレス	畑野 智美	集英社	
八月の犬は二度吠える	鴻上 尚史	講談社	
胸さわぎのクルーズ	矢口 敦子	講談社	
弦と響	小池 昌代	光文社	
木村治美エッセイ集 老いの仕合わせ	木村 治美	海竜社	
オスカー・ワオの短く凄まじい人生	ジュノ・ディアス	河出書房新社	Fデイ

分類	
	0 情報・図書館 1 哲学・宗教 2 歴史・地理 3 政治・社会 4 数学・理学・医学
	5 建築・機械・家政学 6 農林業・園芸・交通・通信 7 芸術・スポーツ 8 言語 9 文学

宍粟市立図書館

こんな本あります

『石垣りん詩集 表札など』

石垣りん 著

石垣りんは大正9年生まれ、戦後活躍した詩人の一人です。

石垣りんの詩には代表作といわれる「表札」をはじめ「しじみ」や「私の前にある鍋とお釜と燃える火と」などがあります。生活の一部を題材として切り取りつつ、巧みに言葉を選び、時には人間の残酷さをあらわし、時にはユーモアにあふれた詩を綴っています。

「自分の住む所には 自分の手で表札をかけるに限る。 精神の在り場所もハタから表札をかけられてはならない 石垣りん それでよい」（「表札」より）

力強い言葉に石垣りんのゆるぎない思いが感じられます。読者の背中を押してくれる詩が詰まっています。

子どもの本 59

（子どもの本を選ぶときの参考にしてください。上段は絵本、下段は読んであげれば低学年から。）

「こねこのぴっち」
（ハンス・フィッシャー 文・絵 石井桃子 訳）

りぜっとおばあさんの家で生まれた5匹の子猫のうち、ぴっちは他の子猫のように毛糸にじゃれついたりして遊びたくありませんでした。全然違うことがしたくて裏庭に出てみると、おんどり父さんがいました。その歩き方の立派なこと！ぴっちは早速その真似をして歩いてみますが……。いろいろな事に興味があるぴっちは幼い子動物たちのそのものです。楽しい本。

「ふたりはともだち」
（アーノルド・ローベル 作 三木卓 訳）

かえるくんが、大急ぎでがまくんの家を訪れて、「春がきたよ。4月のすきとおった暖かい光が見えるよ。起きなよ！」と声をかけました。すると、がまくんは、「もう少し眠りたいから5月になったら起こしてくれ。」と答えベッドに入り頭からふとんをかぶりました。そこでかえるくんはカレンダーの11月から4月までを破り、5月だよ、とがまくんを起こし、散歩に行きました。

なかよしのがまくんとかえるくんの、ユーモラスな行動が楽しい本。4冊のシリーズです。